

調査報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

訪問調査日 調査実施の時間	平成 19 年 9 月 2 8 日 開始 10 時 30 分 ~ 終了 15 時 00 分
訪問先事業所名 (都道府県)	グループホーム秋桜 _____ (北 海 道)
評価調査員の氏名	氏名 <u>大 矢 根 ひ ろ 子</u>
	氏名 <u>土 田 真 澄</u>
事業所側対応者	職 名 <u>管 理 者</u>
	氏 名 <u>加 納 集</u>
	ヒアリングを行った 職員数 (2)人

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載します。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入します。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけます。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容について記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家 族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 調査報告概要表

作成日 平成 19年10月5日

【評価実施概要】

事業所番号	175000314
法人名	社会福祉法人 きたの愛光会
事業所名	グループホーム 秋桜
所在地	北見市北光296番地7 (電話) 0157-66-3275

評価機関名	(有)NAVIRE
所在地	北見市本町5丁目2-38
訪問調査日	平成19年9月28日

【情報提供票より】(19年8月31日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成12年 3 月 22 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 8人, 非常勤 0人, 常勤換算 8人	

(2)建物概要

建物構造	木造モルタル造り	
	2階建ての	1階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	22,500 円	その他の経費(月額)	10月~3月3,000 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 900 円		

(4)利用者の概要(8 月 31 日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	0名	要介護2	4名		
要介護3	1名	要介護4	3名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 84歳	最低 69歳	最高 96歳		

(5)協力医療機関

協力医療機関名	医療法人治恵会 北見中央病院
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

建物は地域の住民センターが隣接する住宅街にあり、近くに消防署があります。会社跡地を利用し造られた施設で居室・居間等広いスペースがとられています。朝食後ほとんどの利用者は居間にて昔のなじみ深い歌を歌ったり(音楽療法)ボールを使ってゲームを楽しんだりして過ごしています。外には花壇や畑があり、施設名にちなみコスモスも植えられています。畑の敷地が広く、近所の方が畑おこしをしたり草刈りをするなどの手伝いを積極的にしてくれています。利用者が種を植え、畑作をする支援を職員が行っています。近くに母体施設があり、ともに地域のお祭り、盆踊り等で一緒に参加し交流しています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 理念については職員と協議し、親しみやすい言葉で表現し、利用者の自己選択、自己決定が行えるよう支援しています。ホーム便りの作成については、管理者は必要を感じていますが、現在検討されており、発行には至っていません。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者、職員は評価の意義を理解し、それぞれがわかる部分について評価を行い、管理者が一つにまとめ作成しています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 会議は、利用者家族、包括センター長、町内会長、民生委員、老人クラブ会長等で構成されており、3月と7月に開かれています。①ホームの紹介、会議設立の趣旨、実施報告、行事計画 ②活動の内容 ③ホームの役割と包括センターの関わりについて話し合われています。積極的な意見の反映にまでは至っていません。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 運営推進会議・内容等については、家族に送付されており、また、玄関先に外部評価資料等と一緒に開示してあります。意見箱の設置はありますが、実際の利用はなく、いろいろな思いを汲み取る工夫として家族会の設置を検討しています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会に加入しており、盆踊り、行事時等に利用者、職員がともに参加し、楽しみごとの一つとしています。老人クラブ、保育園の誕生会に招待され、少しずつ交流を図っています。消防避難訓練にも地域の人が参加し取り組んでいます。

(有)NAVIRE

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員間で話し合い、家族や地域の人にも理解されやすく、親しみやすい理念を新たに作っています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は義務を優先することなく、理念をもとに利用者のペースにあわせ、ゆっくり、ゆったりとした生活が送れるように心がけ支援しています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入しており、各種行事等に参加しています。老人クラブ・保育園の誕生会に招待され交流を図っています。	○	今後は行事時のみならず、地域の人が気軽にホームを訪れ、日常的に交流ができる関係づくりを築くことを望みます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者・職員は評価の意義を理解しています。外部評価で明らかになった改善点について話し合いがされており、理念の見直しなど、改善に向けて取り組みがされています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2回の会議をもたれています。活動内容・報告等はなされていますが、サービス向上に活かす話し合いまでには至っていません。	○	今後は参加者の意見が出やすい工夫をするためにも、グループホームの理解を深めてもらい、活発な意見交換の場となるよう努力することを望みます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	母体との関わりを取りながら、市との連携を図っています。必要に応じ意見・協力をあおいでいます。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	職員は家族の訪問時を大切にとらえ、利用者の暮らしぶりや健康状態について報告し、家族の思いも聞き取るよう心がけています。運営推進会議の中身についても報告がされています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者・職員は機会を見つけ、家族の思いを汲み取る努力をしていますが、支援に活かす意見が出るまでには至っていません。	○	今後は家族との関係を密にするために、家族会の早期の設置が望まれます。家族とともに協力し、作り上げる行事等の計画も必要と思われれます。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職はほとんどみられません。管理者の異動があった場合には、前管理者とともに家族宅を訪問し、理解を得る努力をしています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月に一度、母体施設の研修に参加しています。グループホーム協議会の設置により、研修に参加しやすい状況ができています。ミーティング時等の報告により情報の共有をはかっています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他の同業者と相談しあえる関係を築いています。他施設に見学に行ったり、見学を受けた実績もあります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学時は他の利用者とともに過ごしてもらう工夫をしています。家族にもグループホームの意義等を話しており、理解を得ています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者の思いを汲み取る努力をしています。利用者から思いやりをもって接してもらう場面もあり、支え合う関係づくりを大切にしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	実現可能な要望に関しては、極力支援する努力をしています。業務優先ではなく、利用者の思いに添った支援に重点を置いています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職場は意見がしやすい環境にあり、計画は職員の意見をとり入れ作成されています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	計画見直しについては、家族の意見・要望があるかを確認した上で作成し、説明承諾がなされています。職員の意見により、見直しの時期が検討されることもあります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	緊急時および通常の通院介助を行っています。施設前の広いスペースを利用し、町内会盆踊りの会場提供等の協力をしています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	馴染みのかかりつけ医や希望する医療機関などへの受診を支援しています。訪問看護と提携しており、週1回の健康チェック等を受ける他、24時間体制での支援もとり付けています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族・利用者の要望に応じた方針を共有し、関係医療機関と連携を図り、ターミナルケアに向けた支援を行うこととしています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員はプライバシーを尊重して支援することを意識しており、排泄時等、個々の利用者の状況により接し方を工夫するなどしています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	生活のリズムなど大まかな決まりはありますが、利用者のその日の体調等により、起床時間・食事時間等ゆとりあるものとしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の皮をむいたり、きざんだり、人によっては、“なます”を作るなど、利用者の力を活かしての準備が行われています。片付け等も職員の見守りの中、食器洗いなどをする利用者もいます。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の曜日は決まっていますが、天候や体調により、その他の日でもシャワー浴などの支援をしています。手すりなどのとり付けにより、できるだけ介助なしで浴槽に入れる工夫もしています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	編み物が得意な利用者と一緒に外出して毛糸を買う支援をし、部屋で編み物を楽しんでもらったり、畑作りが得意な人に野菜の手入れをしてもらったりと楽しみごとの支援をしています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日など、ホームにこもりがちになる利用者を散歩に誘うなどしています。また、花見・菊祭り等に出かけることにより楽しみごとの支援をしています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	管理者・職員は鍵をかけることの弊害について理解しています。防犯のため、夜間のみ玄関に鍵をかけています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、消防署の協力による避難訓練を実施しています。その際、近所の人にも声かけを行い、実際に訓練に参加してもらい支援の協力を得ています。	○	今後はいろいろな状況を想定した訓練を取り入れることを望みます。地域の人々とは役割等についての話し合いを持ち訓練に当たるとより効果的であると考えられます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による献立が立てられていますが、畑でとれる野菜の状況や利用者の希望により、メニューを変更することもあります。個々の水分量や食事の摂取量についての記録がとられています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間・居室等比較的広いスペースがとられています。玄関には犬がおり、利用者を和ませています。花畑でとれた花を飾り、季節を感じさせる工夫をしています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に利用者・家族と話し、使い慣れた好みのものを活かすことについて話し合われています。		